

シグマ研究委員会炉定数専門部会
F PWG 会合議事録

日 時： 昭和47年8月7日(月) 13.30~17.00

場 所： 原研本部第3会議室

出席者： 大竹(富士), 松延(住友), 桂木, 菊池, 田坂, 西村秀(原研)

オブザーバー： 長谷川(原研)

議 事

1. Format 変換

- Cook's data は ENDF/A に変換済み, 但し一部の original data に format error あり。
- CCDN より入手した Benzi-Panini の data file から ENDF/A への変換作業を原研計算センター富山氏が実施中, 近日中に終了の見込。

2. Plotted data の検討

- 計算機の故障等で Mo-95, Mo-97, Ru-102, Ru-104, Ru-106, Rh-103, Rd-105, Ru-107 の 8 核種の $\sigma_{n\gamma}$ のみ Cook, ENDF/B-III, Benzi の 3 data の比較プロットを終了。
- ENDF/B-III は 2 MeV 以上で σ_{nr} を過大評価している。
- 1 keV 以下と以上で Cook's data に gap が見られる。

3. Process Code の整備状況

- RROF, GROUCH の I/10 を tape 用に修正すれば OK。

4. 今後の進め方

a) データの選定

Cook の 184 核種全部を処理する。

b) 群定数作成

- 70 群と 25 群を同時に行なり。
- inelastic scattering の取扱いにさらに検討。
- μ を σ_{11} から energy-dependent value としてとるかは, さら

に検討。

- IBMに外注する。(30万前後と予想)
5. 次回会合までの作業
- 群定数作成
 - 比較プロット
6. 核データ専門部会への要望
- evaluated data の入手可能時期を提示してほしい。
 - yield data の evaluation を急いでほしい。